

学び合いを深めるグループ学習

グループ学習・ペア学習は、学び合いを深める有効手段である
意義を踏まえて積極的に活用し、学び合いの充実を

グループ学習の意義

- ①自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。
- ②学習が遅れがちな子や、消極的な子も発言しやすく、話し合いへの参加が期待できる。
- ③子ども同士で主体的に学習することができる。

ペア学習の意義

- ①気軽に意見が言えたり、相談したりできる。
- ②自分の考えを確かめ、自信をもつことができる。
- ③自分と違った考えに気付くことができる。



…有意義なグループ学習のために…

1 <必然性> グループだからこそ効果が上がる必然性のある学習場面で設定する

- <例>・多面的な思考（多様な考えや意見）を引き出す必要がある場面で。
- ・対話によって思考を深めたり広げたりする必要がある場面で。
 - ・発想の質を高め合う必要がある場面で。
 - ・自分と他の意見を対比させて考えることで思考が深まる場面で。
 - ・1つの作業や実験をもとに、考えを深める場面で。

2 <ねらい> グループ学習のねらいを明らかにする

- <例>・自分の考えを確かにして深めるために。 (自信)
- ・他の考えに気づき、思考を広げるために。 (ヒント)
 - ・皆で考えを練り上げるために。 (練り上げ)
 - ・考えの相違点・共通点を聞き合うことで思考を深めるために。 (比較)
 - ・考えを出し合い協働して解決するために。 (協働)
 - ・新たな考えを創り上げるために。 (新たな発想)

3 <学習形態> ねらい・学習内容・子どもの実態などに応じて、学習形態を選択する

- <例>・生活班の（人間関係ができている）人と。
- ・同じ（違う）考えの人同士で。
 - ・同じ資料で調べる（調べた）人と。
 - ・違う資料で調べた人が一人ずつ集まったグループで。



なぜグループ学習にするのか、そのねらいを子どもたちと共有し、見通しをもって活動できるようにしましょう。

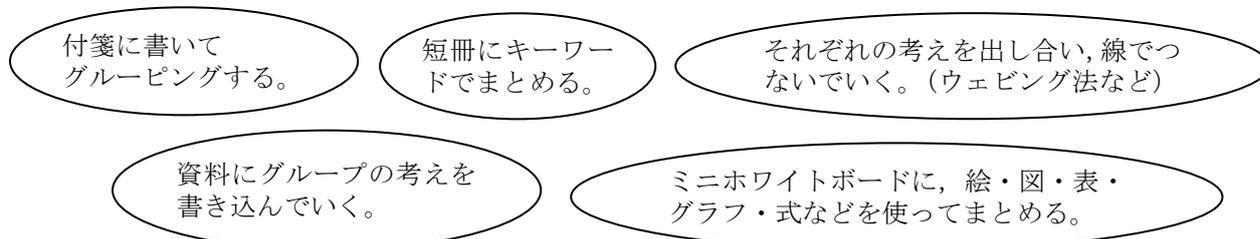
4 <方法> 話し合いの**方法**や**まとめ方**を選択する

<話し合いの方法例>

- ワークシート・ノートに書いた自分の考えをもとに話し合う。
- 共通の資料を見て多様な考えを出し合う。
- それぞれの考えの結論を先に出し合い、違っている点に焦点を当てて話し合う。
- 役割を決めて演技する中で思いをもつ。
- グループ内で AB に分かれて討論する。
- 互いに異なる資料について調べたり考えたりしたことを聞いて話し合う。



<まとめ方の例>



<グループ同士の交流の例>

- 他のグループと交流する。
(互いに説明し質疑応答する)
- グループの1人が他のグループに説明する。
(他のグループを納得させる)



◎グループ学習を生かして**全体の学び合い**を深める

<コーディネートの例>

- 1～2グループだけ取り上げ、自分たちのグループの考えとの関係を考えさせてつないでいく。
(簡単な考えから)(多い考えから)(誤答から)
(ゆさぶりになる考えから)
- 全グループの考えを一度に示し、比較・分類を通してねらいに迫る。
- 問い返して深める。
- 思考をゆさぶる発問をして深める。

全グループが順番に発表するだけでは深まりません。グループ学習での学びをいかに全体での学びの深まりにつなげるかが、教師のコーディネート力の問われるところです。

子どもたちが、「グループ学習だからこそ考えを深めることができた」
そう実感できる必然性のあるグループ学習をめざしましょう

